

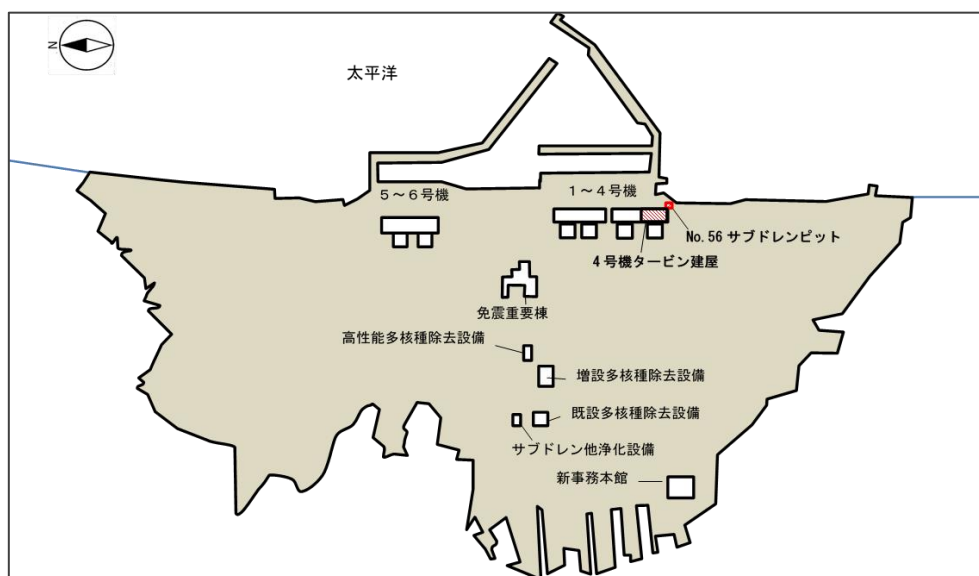
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年1月13日（水）
- 2 確認箇所
4号機タービン建屋東側（No. 56サブドレンピット近傍）
- 3 確認項目
No. 56サブドレンピットの水位計異常
- 4 確認結果の概要

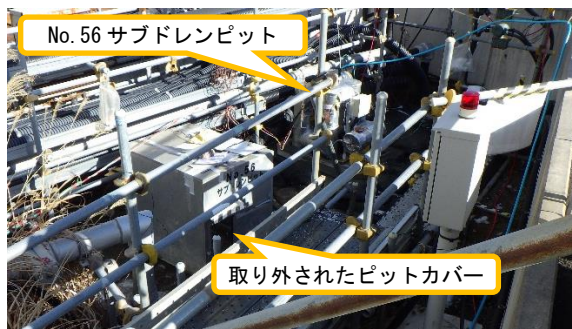
令和2年12月26日、東京電力の当直員が免震重要棟集中監視室においてNo. 56サブドレンピット（以下、「ピット」という。）監視用の2台の水位計の偏差^{※1}が大きいこと及び警報の発生を確認した。主管グループ員がピットの実水位を確認した結果、水位計1は正常であり水位計2の故障と判断した。さらに、12月29日にも水位計1の挙動に異常が発生し、故障と判断したことから、原因並びに対応状況を確認した。（図1）

- ・水位計が機能しなくなった理由としては、ピット内の地下水が凍結したためであり、現場確認時には温水を用いたピット内の融氷作業が実施されていた。（写真1）
- ・東京電力によると、今後、ピット内に循環ポンプを仮設置し、地下水を流動させることでピット内の凍結抑制を図ることや、ピット凍結防止対策としてヒータの設置についても検討するとのことであった。

※1 水位計同士の値のずれ



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
No. 56 サブドレンピット周囲
の状況



(写真1-2)
融氷作業の実施状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。